

科目名		IT実習			
担当教員	渡邊 美歌		実務授業の有無		
対象学科	ものづくりデザイン科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	32時間
授業概要、目的、授業の進め方	1. PowerPoint の基本的な使用方法を練習問題をしながらPCを操作する。 2. コンペ対策を踏まえた各種練習課題の作成を行う。 3. 基本機能を理解したうえで、応用や各機能を使った演習を行う。 4. 座学→演習→添削と解説を繰り返し行い、合格基準の到達を目指す。また、習得レベル差ごとの指導も適宜行う。				
学習目標 (到達目標)	IT実習では、PowerPoint発表技術を学ぶ。在学中のコンペ等で使用する際や就職後に役立つ知識を身につける事を目的としている。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	講師が準備するプリント				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	PowerPoint基礎 ①PowerPointの画面構成と文字の入力、 ②箇条書きの設定		練習課題・模擬問題を繰り返しつつ、弱点に対し、個人的に指導を行う。 準備学習：テキストを見ながら、自宅でのPC操作を練習する。		
2	PowerPoint基礎 ①画像の貼り付け ②SmartArt。		練習課題・模擬問題を繰り返しつつ、弱点に対し、個人的に指導を行う。 準備学習：テキストを見ながら、自宅でのPC操作を練習する。		
3	PowerPoint基礎 ①図形描画に		練習課題・模擬問題を繰り返しつつ、弱点に対し、個人的に指導を行う。 準備学習：テキストを見ながら、自宅でのPC操作を練習する。		
4	表示効果とハイパーリンク ①アニメーション効果と使用方法		練習課題・模擬問題を繰り返しつつ、弱点に対し、個人的に指導を行う。 準備学習：テキストを見ながら、自宅でのPC操作を練習する。		
5	スライドショーの実行 ①スライドショーの操作方法		練習課題・模擬問題を繰り返しつつ、弱点に対し、個人的に指導を行う。 準備学習：テキストを見ながら、自宅でのPC操作を練習する。		
6	スライドの印刷設定 ①スライドの印刷方法、 ②資料配布のための内容について		練習課題・模擬問題を繰り返しつつ、弱点に対し、個人的に指導を行う。 準備学習：テキストを見ながら、自宅でのPC操作を練習する。		
7	GIMPを使用したグラフィックスー1 ①GIMPの基本操作と選択方法 ②写真の補正を学習し、プレゼンに必要な画像の準備		練習課題・模擬問題を繰り返しつつ、弱点に対し、個人的に指導を行う。 準備学習：テキストを見ながら、自宅でのPC操作を練習する。		
8	GIMPを使用したグラフィックスー2 ①写真の切り抜きを、プレゼンに必要な画像の準備		練習課題・模擬問題を繰り返しつつ、弱点に対し、個人的に指導を行う。 準備学習：テキストを見ながら、自宅でのPC操作を練習する。		
9	GIMPを使用したグラフィックスー3 ①写真の合成を、プレゼンに必要な画像を準備		練習課題・模擬問題を繰り返しつつ、弱点に対し、個人的に指導を行う。 準備学習：テキストを見ながら、自宅でのPC操作を練習する。		
10	プレゼンテーション資料作成テクニック ①スライドの配色やレイアウトなどについて学習		練習課題・模擬問題を繰り返しつつ、弱点に対し、個人的に指導を行う。 準備学習：テキストを見ながら、自宅でのPC操作を練習する。		
11	演習 与えられた課題についてのプレゼン資料の作成		練習課題・模擬問題を繰り返しつつ、弱点に対し、個人的に指導を行う。 準備学習：テキストを見ながら、自宅でのPC操作を練習する。		
12	演習 プレゼン資料の修正、および発表		練習課題・模擬問題を繰り返しつつ、弱点に対し、個人的に指導を行う。 準備学習：テキストを見ながら、自宅でのPC操作を練習する。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
プレゼンテーション作成技術・画像処理における課題作業を重要視した評価をします。 プレゼン作成技能50% 提出課題・画像処理40%、平常点10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			最近是非常PowerPointが幅広い使われ方をするようになってきました。画像処理もやります。様々なアプリケーションを柔軟に組み合わせ使用していくのが2年生の目標です。		
実務経験教員の経歴					

科目名		IT実習			
担当教員	渡邊 美歌		実務授業の有無		
対象学科	ものづくりデザイン科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	32時間
授業概要、目的、授業の進め方	1. GIMPの基本的な使用方法を練習問題をしながらPCを操作する。 2. 写真・動画の編集を各種練習課題の作成を行う。 3. 基本機能を理解したうえで、応用や各機能を使った演習を行う。 4. 座学→演習→添削と解説を繰り返し行い、基本操作を習得する。また、習得レベル差ごとの指導も適宜行う。				
学習目標 (到達目標)	画像・映像などの編集をとおして自分を発信できる作品を作成する。卒業アルバムのクラスページ・クラス動画を自分たちの力で作り上げる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	講師が準備する教材など。iPadの準備をお願いします。				
NO.	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	GIMP(色補正・傾き補正) ①写真の色補正や傾き補正などの実習	練習課題・模擬問題を繰り返しつつ、弱点に対し、個人的に指導を行う。 準備学習：テキストを見ながら、自宅でのPC操作を練習する。			
2	GIMP(切り抜き・合成・フィルタ) ①写真の切り抜き・合成 ②様々なフィルタ機能を使用した画像果の設定	練習課題・模擬問題を繰り返しつつ、弱点に対し、個人的に指導を行う。 準備学習：テキストを見ながら、自宅でのPC操作を練習する。			
3	卒業アルバム・クラスページの制作 ①GIMPを使用した、アルバムページの作成。	練習課題・模擬問題を繰り返しつつ、弱点に対し、個人的に指導を行う。 準備学習：テキストを見ながら、自宅でのPC操作を練習する。			
4	動画編集ソフトのインストール ①動画編集ソフトのインストール ②実習データのインストール。	練習課題・模擬問題を繰り返しつつ、弱点に対し、個人的に指導を行う。 準備学習：テキストを見ながら、自宅でのPC操作を練習する。			
5	動画の編集 ①ソフト機能の理解 ②編集プランと動画編集の流れ ③ソフトの基本操作を学習する。	練習課題・模擬問題を繰り返しつつ、弱点に対し、個人的に指導を行う。 準備学習：テキストを見ながら、自宅でのPC操作を練習する。			
6	動画の編集 ①部分切り出し、つなぎあわせ ②ムービーメーカーを使った動画の一部分を切り出し、 ③つなぎ合わせと、曲の挿入	練習課題・模擬問題を繰り返しつつ、弱点に対し、個人的に指導を行う。 準備学習：テキストを見ながら、自宅でのPC操作を練習する。			
7	動画の発行 ①編集をしたプロジェクトファイルから動画を適したファイル形式で発行。	練習課題・模擬問題を繰り返しつつ、弱点に対し、個人的に指導を行う。 準備学習：テキストを見ながら、自宅でのPC操作を練習する。			
8	作品発表会 ①クラス全員の作品を上映する。	クラス全員の作品を上映し、講評、解説。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出欠席と授業態度を平常点として評価し、また画像処理課題・アルバムクラスページ・動画作品の内容、完成状況から成績評価をします。画像処理課題30%、アルバムクラスページ30% 動画作品30% 平常点10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		様々な画像や、動画を編集し課題を作っていくのがメインの作業のため、使い方だけでなく考え方や構成も覚えなければならず、時間がかかる作業のため、計画的にコンテンツを進めていく。能動的な姿勢も重視することからわからないことはネット等を利用して情報収集を促す。また、自由課題などもあることから、適宜個別の指導も要する内容となっている。			
実務経験教員の経歴					